

被災された方々へ

今回の能登半島地震において被災された多くの方々に心よりお見舞い申し上げます。

甚大な被害に加え、余震が現在も続いていると伺っております。被災者の方や行政の方々の、ご心痛如何ばかりかと拝察いたします。

平成28年の熊本地震の際にはエコノミークラス症候群が多く発症し、その発症頻度は専門家の予測を上回るものでした。精神的ストレスが如何に血栓症発症の危険因子であるか、また被災者の方々が経験されたストレスが如何に大きかったかをあらためて認識いたしました。

今回の被災地でも同様にエコノミークラス症候群を含む血栓症の発症が危惧されます。特に今回は、新型コロナウイルス感染回避のために車中泊を余儀なくされる被災者の方が多くなることが予想され、血栓症は発症のリスクがさらに高まると予想されます。日本血栓止血学会では被災地のエコノミークラス症候群予防と疾患概念の普及のために緊急提言を発しました。病気を解りやすく解説した小冊子「知って得するおはなし：血栓症ガイドブック」と共に被災者の方々や自治体へ配布させていただきます。改めて記載はしておりませんが、段ボールベッド等を使用することは血栓症の予防と共に3密の回避にもつながると思います。

被災地での血栓症予防の一助にしていただけましたら幸甚です。

まだまだ豪雨が予想される中、皆様のご無事とご健康を心よりお祈り申し上げます。

令和6年1月2日

日本血栓止血学会 理事長 松下正